

(d) 調査結果

回収した漂着ゴミの容量・重量を表 3.2-6 に、回収した漂着ゴミを図 3.2-18 に示す。

表 3.2-6 独自調査における漂着ゴミ回収結果（飛島西海岸 地点4・植生内）

	A (350㎡)		B (300㎡)		合計 (650㎡)	
	重量(kg)	容量(L)	重量(kg)	容量(L)	重量(kg)	容量(L)
ゴム類	5	21	8	30	13	51
ガラス類	5	20	6	20	12	40
金属類	3	10	1	14	4	24
発泡スチロール類	11	245	16	525	27	770
プラスチック類	141	1,482	105	1,080	246	2,562
合計	164	1,778	136	1,669	300	3,447

※A：のべ3.5人日(21時間)、B：のべ8.5人日(51時間)



回収したゴミ（プラスチック類 A区域）



回収したゴミ（発泡スチロール類 A区域）



回収したゴミ（プラスチック類 B区域）



回収したゴミ（発泡スチロール類 B区域）

図 3.2-18 田下海岸周辺の植生内において回収したゴミ

j. 飛島西海岸における植生内の漂着ゴミの回収（地点 2：ツブ石海岸）

(a) 調査目的

地域検討会で、飛島西海岸の地点 4（田下海岸）以外の後背地においても漂着ゴミが多いことが指摘されたため、その実態を把握することを目的として、地点 2（ツブ石海岸）にて植生内調査を実施した。

(b) 調査場所

調査場所を図 3.2-19 に、地点の断面を図 3.2-20 に示す。調査区域を海側斜面（A 区域）と陸側斜面（B 区域）の 2 区域を設置した。ともに海岸線長は 34.5m、内陸方向に A 区域（崖肩～尾根）は 3.9～4.1m、B 区域（尾根～谷）は 6.1m とした。B 区域より内陸方向は、ほぼ水平な地形であった。

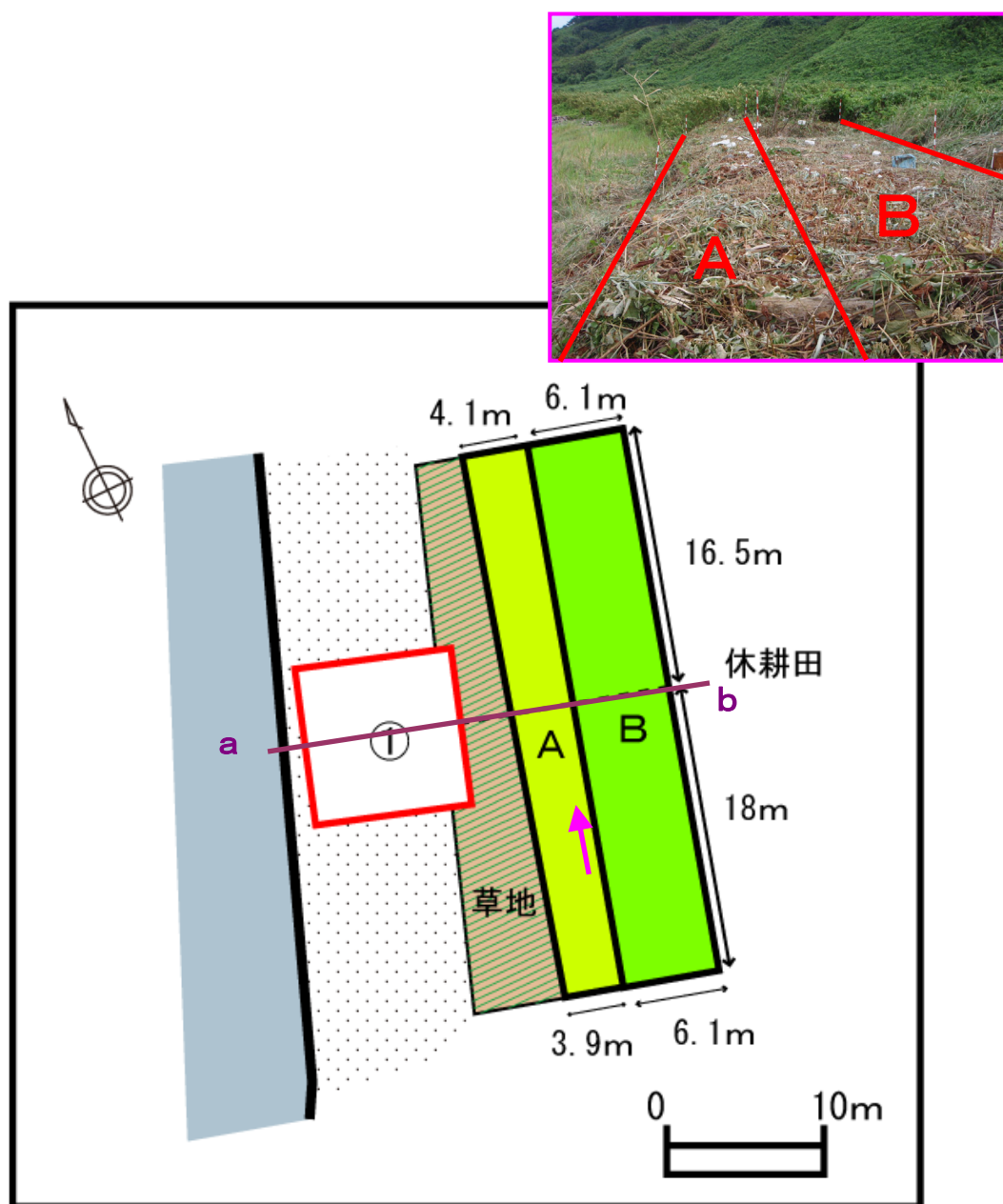


図 3.2-19 植生内調査における平面模式図（地点 2：ツブ石海岸周辺）

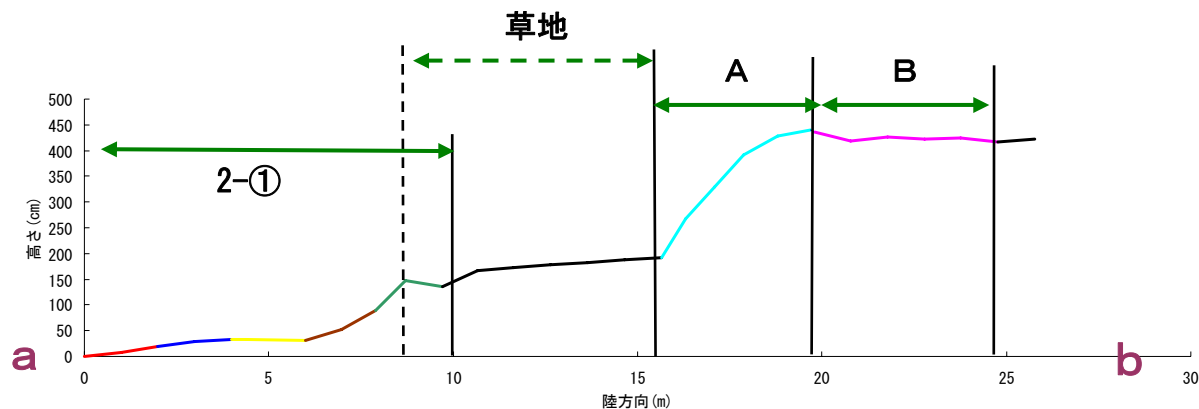


図 3.2-20 植生内調査における断面模式図（地点2：ツブ石海岸周辺）

(c) 調査方法

回収範囲は、重機の搬入が困難なため、人力により回収を行った。植生内はイタドリ類、ヨシ類が繁茂し、草丈が背丈より高い場所も多かった。また、当該地区はマムシも多い場所であるため、植生内の草を足で踏み固めながらゴミを回収した（図 3.2-21）。

なお、海岸から道路までの搬出は、人力により実施した。



人力による回収（A区域）



人力による回収（B区域）



回収後の地点2

図 3.2-21 ツブ石海岸周辺における植生内調査の写真